

はじめに

2021年度、コロナウイルス感染症拡大により、ほとんどの活動ができませんでした。会員数の減少をとめることができませんでした。

1 会員の加入～拡大・納入～状況

2021年度の会員数は1,084名（新規58名・継続1,026名）、昨年度に引き続き、会員減少となりました。

各地域・団体選出の幹事、北部の方々や口上林世話人会をはじめ、京都府全域で奮闘いただきましたが、会員数の増加に転じることができませんでした。

一番の要因はコロナ禍の影響により、集まることができず、後援会行事だけではなく社会全体でも外出自粛などにより人と会う機会が奪われる状況が長く続いたことが挙げられます。

事務局として、数年更新の止まっている会員あてに更新依頼の手紙を丁寧に送付するなどを続けましたが、結果が伴いませんでした。

2 後援会活動

役員が集まり協議する場として、プロジェクトチーム、幹事会、総会がありますが、2020年度に引き続き、コロナ禍の影響により、プロジェクトチーム会議1回、総会開催のみとなりました。

今後、Withコロナ社会が続くことを念頭に、オンラインでの実施を効果的に活用し、会員が顔を合わせる機会を設ける工夫が必要です。

3 後援会の宣伝（広報）

各センターでの行事（大文字を見る会、いこいの村まつり、聴言センターまつり等）、地域での集まりなどがコロナ禍の影響により中止となりました。

事務局による後援会ホームページの更新、パンフレット普及、会員およびセンター利用者等に呼びかけを行いました。

4 関係団体との連携

コロナ禍の影響により、後援会活動、関係団体の活動ともに進みませんでした。

口上林世話人会では、これまで通り、いこいの村職員と世話人の方々が一緒に地域の訪問活動を行い、共同の取り組みをしていただきました。

京都府聴覚障害者協会との共催で、映画『咲む』上映会を企画しましたが、コロナウイルス感染症拡大状況を鑑み、やむなく中止となりました。

会員目標 1,300人**【会員拡大を進めること・レインボープラン3の取り組み推進】**

法人事業の前進とともに歩んできた後援会。活動を通じて理解者を増やし、地域に根差した事業の実現を図ってきました。

コロナ禍にあっても、できる事を模索し、工夫しながら取り組みを進めます。後援会として原点を大切にしながら、後援会の主旨に賛同いただく活動こそが、さらなる福祉の発展と確信し、引き続き拡大を目指していきましょう。

2022年7月、レインボー3(2021年度までの新レインボープランの後継)がスタートしました。後援会会員みんなで学び実践につなげていきましょう。

【ともに歩み、ともに地域福祉を創る】

会員には年間4回発行の『聴言ニュース』が届きますが、会費は購読料ではありません。会費は、私たちの望む福祉の発展＝「レインボー3」の実現にすべてつながっていきます。そのために法人事業に活用し共に進めていることを再度確認しましょう。

会員の減少に歯止めがかかりません。コロナ禍の現状を踏まえ会員拡大の動きを作っていきます。

1 会員拡大について

(1) 各団体・ブロック毎に目標を定め、合計で会員拡大1300名

(団体1000名+職員300名)

【地域ごとの目標】※職員を除いています

地域	京都市内	北部	口丹	乙訓	山城	他府県
会員数	450	350	50	50	100	0

⇒目標達成に向けての具体策を協議していきます。

(2) 2021年度で一旦終了となった「新レインボープラン京都」の後継である新しい計画「レインボー3」が発行されました。京都聴覚言語障害者の豊かな暮らしを築くネットワーク(以下:府ネット)との共同の取り組みを進めます。

(3) 後援会員の皆様に会員証を発行します。会員特典について、見直しを行い、再度会員への周知と利用を促します。

(4) コロナ禍の影響により、対面での会員拡大、集合しての学習会やつどいができない状況が続いています。しっかりと感染予防をしながら会員の拡大の活動を続けていきます。

- 2 会員交流の取り組み ※コロナ状況を判断しながらの実施となります。
- (1) 法人事業を知る機会として、法人主催行事に後援会も共に取り組みます。
 - (2) 各地域で開催される行事へのバザー出店を行います。
 - (3) 会員同士の交流・新規会員の拡大に繋がる企画を実施します。
 - (4) レインボー3の学習会を計画し多くの会員と共に学び実践します。

3 法人後援会活動

- (1) 後援会幹事会を最重要決議機関とし、後援会の方針決定、活動の報告を丁寧に行います。

法人担当者（事務局・担当理事）と幹事会代表による【プロジェクトチーム】を継続し、後援会の有り方、拡大方針、寄付、一般のあらゆる方への会員拡大の活動を進めます。

- (2) レインボー3の学習、プランに沿った取り組みを強化します。
- (3) 幹事、各地域・団体・事務局との連携に努め、活動を充実させます。
 - ア 会員や会費納入状況について、的確な把握につとめます。
 - イ 自動引き落としによる会費納入の拡大をしていきます。
 - ウ 会員加入状況を丁寧に幹事や法人内担当職員にお知らせし、着実な目標達成に向けた働きかけを行います。
- (4) 会員同士の絆を大切にし、緊密な連携と活動を展開します。

- 4 後援会活動の業務委託（京都聴覚言語障害者福祉協会への業務委託）
引き続き法人へ業務委託により、後援会業務の的確・円滑な実施に努めます。

5 関係団体との連携

- (1) 府ネットと法人との連携をいっそう強化します。
- (2) 府ネットと連携し多くの会員や寄付を募ります。
- (3) 法人広報媒体（ホームページ、聴言ニュース等）や関係団体の発行する機関誌等を通して、後援会の呼びかけを行います。